

## 4 參考資料



## 4-1 自由回答

今回の調査で寄せられた主な自由意見を以下に示す。

なお、自由意見は原文の内容を損なわない範囲で、一部抜粋・修正している場合がある。

### (1) 人権全般 (計64件)

<p>人生いい時も困難な時もあり。人も十人十色、思っていることを周りの人と話すこと、その人の考えも認め合い、自分の意見も言って理解してもらうようにすること。自分も一人の人間、ポジティブに差別のない社会がくる事を願っています。</p>
<p>社会の不寛容さ、想像力の欠如、思いやりのなさが問題だと思います。 自身に立場を置き換えたらどう思うのかをきちんと考えれば、こんな問題はおきないと思う。</p>
<p>これまで人権問題に対して何の興味も関心もなく、正直大げさだと思ってました。しかし差別を受けている人にとっては大きな問題だとは知っています。周りの人の助けが一番大事だと思います。</p>
<p>実際何年かかっても解決できてない問題だと思います。私が子供だった時よりも、はるかに生きにくい世の中になっていると思います。</p>
<p>人権について、自分と同じように他人もそれぞれ人生の夢や希望、考えを持って生きているものです。たとえ自分と違った考えを持った他人でも攻撃せずに相手によりそってみる努力は必要かと思います。</p>
<p>田舎に行けば行くほど人権問題、プライバシーの侵害が大きいのではと思います。昔からの知り合い、親戚だらけの中、個人のプライバシーが守られないのが普通です。今でも嫁に来た人、越してきた人は出会う年寄りたちに根掘り葉掘り尋問を受けることが多いです。そして人から人へと話がまわります。田舎はいい所ですが、住みにくい部分もあると思います。</p>
<p>時を同じく生きている貴方も私もお互いに大切に思う心、優しさが大切。家庭での親の自然な思いやる姿・後姿・言葉を見て子供は育ちます。愛ある家庭からが出发点であり、人を差別する心は産まれなれないと思います。 テレビドラマなど、心を育てるようなものをもっと作ってほしいと思います。</p>
<p>人は誰でも平等に生きる権利があると思いますが、それを不当に利用しようとする人がいることが問題だと思います。本当に支援が必要な人には支援をする必要があると思いますが、一人ひとりが自立できるような社会づくりがされていくといいと思います。そのためにも、性や出身や障害に拘らず、誰もが皆、平等に人間なのだという教育が、こどもの頃から感じられる社会、世界が理想だと思います。</p>
<p>寛容な社会であれば許容されることも、問題化され社会的に抹殺されることもある怖い社会を産み出してしまいました。このまま進めば、欧米の価値観のみを基準とする社会を次世代に渡すことになりそうです。勝ち組or負け組、マジョリティorマイノリティetc。人権を守ることの大切さを痛感します。</p>
<p>差別はその方々を知らない事による恐怖心等からくるものだと思うので、交流の場、相手を知る機会を作ることが大切だと思います。</p>

いろいろな面で本当に先（将来）がみえない時代、そして、一人世代が増し、孤独、孤立、人の温もりが感じられない社会です。他者への思いやりや自分がされたイヤな事は他の人へはしない、どんな時もやり直しを許せる社会等々、本当に言うのは簡単ですが、根を張って一人一人の心に「あたりまえ」となるには難しい事だと思います。

(2) 女性の人権 (計3件)

職場で女性を対象とした研修を行うなど、企業や行政が女性が働きやすい環境づくりのためにスキルアップできるような制度を設ける必要があると思う。

(3) 子どもの人権 (計6件)

子供の人権については家庭（親）の環境が問題だと思います。問題が起きないと、第三者が入れない感じなので、問題が起きる前に対応出来る環境を作って欲しいです。

子供のいじめをなくしていく。自殺するまで本人が追い詰められているのになぜ先生が気づかないのか、私には理解出来ない。子供達が自由に意見が言えるよう、教育することが大事だと思います。

(4) 高齢者の人権 (計1件)

80才になり、足腰が不自由で歩くのに杖がいる。地域の役があたるが、一人前の仕事が遅く間に合わないため、怒られて辛い。

(5) 障がいのある人の人権 (計9件)

発達障害のある人の人権について、個性として正しく理解されると良い。子供たちも含め保護者にも発達障害への理解を促す仕組み（各学校へ出向き専門家や経験者の体験を聞く機会など）が必要であると思う。

障害者自身だけではなく、サポートに悩み、苦しんでいる障害者の家族の人権についても相談ができる場所があれば、教えていただきたい。

(6) 部落差別（同和問題） (計10件)

関東から転居して、来岐した当初、職場の同僚から部落差別について忠告されたことを忘れません。解決には多くの課題があって、住居の形だけ見てもそれとわかるのはどうかなと思います。差別なく共存するための方策は教育や施設の近代化などいろいろな面からアプローチが必要と思う次第です。

私の中学校の校区には同和地区があり、授業の一つに同和学习がありました。当時は同和地区というのもしりませんし、知らなくていいものを知ってしまったと当時は思っていました。ですが自分の子が同じ世代となったとき、正しく伝えるのに、当時の授業が必要だったと知りました。義務教育における人権問題の授業が大切かと思います。

同和問題については、特別な待遇がある事により、この部落は特別だ、人とはちがうと思われがちではないかと思います。住んでいる方は普通の方ばかりです。差別的なことがあるのは、一部の特に年配の方ではないかと思います。何でも普通になっていけばいいと思います。

部落差別の解消のため県において条例の制定及び市町村への条例制定の推進依頼をして頂きたい。

(7) 外国人の人権 (計5件)

日本人と同じように外国人家庭に対する生活面、教育面でのサービスが受けられる権利の保障や外国語による案内板などを充実してほしい。ゴミ出ししないなどの生活環境に関する隔たりが現実的な問題と感じます。生活への悩み解消が人権意識の向上に繋がると思います。

外国人に対する偏見があり、話もせず嫌いだと決めつける。町内会の役員を順番だからと事情を考慮せずに押しつけ、いじめて町内会に入れない等、日常的に目にふれない所での人権侵害が多くある。

(8) 感染症患者等の人権 (計1件)

ハンセン病は特に若い世代になるにつれ知らない人も多い。知らない=差別しようがないので必要以上に周知させる必要はないと思う。周りに知らせることよりも、差別されて困っている人たちへのサポートや差別する人たちへの理解を深めたほうが良いと思う。

(9) 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題 (計3件)

近年、ワクチン接種で同調圧力的な報道や職場での接種の推奨が疑問に感じる事があった。

岐阜県はワクチン・ハラスメント防止の取り組みを早い段階でされていますが、県民に浸透しているかはよくわかりません。全ての人権問題の啓発が必要だと思いますが、特に新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種のハラスメント防止を強く啓発して頂くことを願っています。

(10) 刑を終えて出所した人の人権 (計1件)

再犯を繰り返すのは本人の罪の意識が欠如しているからだと思いますが、出所する前の更生施設を充実させて罪をおこさない啓蒙教育を徹底して行えば、少なからず効果が出てくると思いますし、権利の前に教育の必要性があるのではと考えます。

(11) 犯罪被害者とその家族の人権 (計0件)

(12) インターネットによる人権侵害 (計4件)

インターネットの発達により、便利になった分いろいろな情報にあふれ、匿名による無責任な意見表明の手段が広がっていることから意図的、無意識問わずに人権を侵害することや犯罪が増えていると思います。想像力や相手の気持ちをくみとる姿勢を小さい頃から育む機会を家庭・社会で多く設けることが必要だと思います。

自分の姿を表に出さない方法で他人を傷つける様な非情な行為には相応の重い刑罰を課す必要があると思います。

(13) ホームレスの人権 (計0件)

(14) 性的少数者の人権 (計6件)

最近、性的少数者の問題がよく取り上げられていますが、子どもの頃、気になる子がいたことを思い出し、性的少数者についてもっと早くから知っていたら、違った接し方ができていたのにと後悔することがありました。周囲の理解が何よりも大切です。

身近な人にLGBTの方がいるが、本人は周りに打ち明けるのが難しいと言っていた。もっと世間がフラットな目線で物事を見られるようになれば、生きやすいと思う。

万人に合致するような法制度等は存在しないし、それを作る必要もないと思います。

(15) アイヌの人々の人権 (計1件)

アイヌという民族がいることは知っていましたが、差別については知らなかったです。今はインターネット社会ですが、幅広い年齢層の方にいろいろな人権問題を知ってもらうなら、テレビが一番なのではと思いました。

(16) 職場での人権 (計3件)

何十年前と比べて、相談窓口などが増えてきたことや、パワハラ、セクハラなどについて職場で上司も気を遣うようになってきた。以前よりも働きやすい環境になった感じはしています。

(17) 災害時の人権 (計0件)

(18) 個人情報保護の問題 (計1件)

この調査で統計的処理のための設問も特定できると思われる項目があり、郵送やネット回答でも特定しようとすれば特定されるのではと思う。行政等から無作為に選んだという調査やアンケートがいくつも来るのは、名簿が作られているのではと思う。

(19) 人権意識など (計18件)

人権問題を解決するには、県民一人ひとりが自分ごととして考え、行動できるよう、人権問題が身近な問題であると捉えられるようにすることが肝要であると思います。意識の醸成を図るためには単に冊子、チラシ等の作成やTV等の広報をするのではなく、人の心に訴え、真に理解できるものでなければいけない。

人権問題は当事者でなければわからない問題で、発言した者はそれが差別であったり人を傷つけているとは思っていないことがあります。社会的に差別を受けている人がいても、別の人は「もうその問題は終わっているのでは？」と思い、当事者でなければ感じない現実があり、そのことに気づくような人権教育と啓発が必要だと思っています。

人権問題を目の当たりにすることがあまりなく、実感として感じられない部分もあった。子どもの頃から人権を教育の中に取り入れて、皆が意識を変えなくてはいけない気がする。

差別や偏見のない社会であれば良いと思いつながら、どこか他人事で具体的な解決策など考えたことはありませんでした。人権侵害する行為がなくなること、また人権侵害された側が卑屈で窮屈な気持ちにならないよう改善されれば住みやすくなると思う。皆がのびのびと生きていける社会になるように働きかけを行っていきたく思いました。

(20) 人権教育・人権啓発の方法 (計31件)

必要なのは学校教育で、人によって多種多様に变化していく考え方や、価値観を認める・受け入れるといったことをすることで、子どもたちが大人になり、さらに自分の子どもにも教えていくことが大事だと思います。長期の地道な活動によって少しずつ理解されて変わっていくものなので是非結果ありきではなく、中身の伴った充実した施策を行っていただきたいです。

講習会や研修会は大切であるが、人権問題に対し意識が高い人々が参加するのみで、本当に参加が必要な関心の低い人への意識形成には至りにくいと感じる。難しいことですが、各人が知識を深めて理解して行けると良いと思います。

たくさんの個別の問題はあるが、他人を思いやる気持ちを持てるか否かが大前提だと思う。それにはまず「自らを大切に出来る」人間を育てることかと。他人が介入しにくい家庭での愛情のかけ方が根本となると思うので、行政の関りとしては義務教育期間や妊娠、子育て期に集中して啓発活動を行うのが良いのではないかと思った。

(21) その他 (計45件)

大切なことだとは思いますが、アンケートの問題提起が多すぎて大変でした、もう少しテーマを絞っていただきたい。

まだまだ知らない事が多い問題であるので自分も知ることが大切だと思う。今回このアンケートを通して少し知ることができ良い体験だった。これからも一歩踏み込んで一人一人がお互いに知っていくことで、少しずつ良くなることを願います。

答えるのにすごく時間が必要でしたが、このアンケートが届いてから、じっくり一つ一つ目を通す事で色々な問題をかかえた生活している方がある事を知り良い機会を与えて頂きました。

